

2007年4月25日

記者各位

出光興産株式会社

機能化学品の価格改定について

当社（本社：東京都千代田区、社長：天坊昭彦）は、このたび、機能化学品の下記商品について価格改定を実施します。

記

1. 対象商品および価格改定幅

< 商品名 >	< 値上げ幅 >	< 主な用途 >
① αオレフィン	: + 20円/kg	ポリエチレン原料、洗剤原料 他
② ビスフェノール A	: + 20円/kg	ポリカーボネート・エポキシ原料 他
② 水添石油樹脂	: + 26円/kg	ホットメルト接着剤、樹脂改質 他
③ Poly bd	: + 35円/kg	電気絶縁材、シーリング材 他
④ MEK	: + 16円/kg	インキ・ウレタン加工用溶剤
⑤ イソパラフィン溶剤	: + 20円/ℓ	無臭溶剤 他
⑥ トルエン・キシレン	: + 16円/kg	塗料・シンナー用溶剤
⑦ 高沸点溶剤	: + 16円/kg	自動車塗装・農薬用溶剤
⑧ ポリブテン	: + 50円/kg	潤滑油原料、シーリング材 他

2. 実施時期

5月1日（火）出荷分より

3. 背景・理由

昨年末から年初にかけて比較的安定していた原油・ナフサ価格は、2月に入り急激に高騰しています。ドバイ原油価格は1バレル当たり65.8ドルを4月半ばに記録し、輸入ナフサ価格もトン当たり680ドル以上に達しています。これは、OPEC諸国による原油減産、米国での低水準な原油・ガソリン在庫量の推移、さらにはアジアエチレンメーカー各社の堅調な需要と台湾・韓国での大型エチレン装置の新增設が要因です。

また、ビスフェノール A の原料の 8 割を占めるベンゼン価格の世界的な

需給タイト化と原油価格高騰により、米国湾岸のスポット価格は、4月に過去最高のトン当たり1,200ドルに到達しております。

5月以降は、米国でのドライブシーズンによるガソリン需要期も控えており、原油およびナフサ価格は今後も高値が続くと見込まれます。そのため、第2四半期（4－6月）の国産ナフサ価格は、キロリットル当たり57,000円レベルになると見込まれます。

このような急激かつ大幅な原料価格の上昇により、今回価格改定を実施することにしました。また、昨年から未決着であったアクリル酸エステルの値上げについても、今回の値上げにあわせ早期決着を行います。

以 上

～ お問い合わせ先 ～
出光興産株式会社 広報室 (山田) TEL: 03-3213-3115
機能化学品部 企画課 (古閑) TEL: 03-3213-3622
URL <http://www.idemitsu.co.jp>